

## 有限会社奥進システム

障がい者の雇用を積極的にすすめている点で優れた企業として選ばれたのは、有限会社奥進システムです。障がい者を積極的に雇用するという意味は、障がい者が働く場や機会を拡大するという社会的な意味があるとともに、障がい者が安心して働ける職場環境を整えるためには、バリアフリーなどの物理的な環境整備とともに、個人の事情に合わせ労働時間を調整できることや社員同士が助け合えるような雰囲気づくりがされていることなどが重要です。



代表取締役 奥脇 学

がら、床のバリアフリーを整備、ドアを簡単に開け閉めできるようにするための吊り下げドアを設置しただけでなく、体温調節が困難な社員のため机上に小型扇風機を置いたり、パソコンの入力をしやすくするためにトラックボールを導入したりするなど、至るところに働きやすいような配慮がなされています。疲れた時には休めるように、休憩室も用意されています。

### 従業員同士の気配り

こうした物的な配慮だけではありません。車椅子を使う社員には週2日の在宅勤務制度があり、個人の事情に応じた時短勤務の選択肢も用意され、残業ゼロが推進されています。障がい者の方が無理なく働けるよう、こうした労働条件の改善もなされているということです。これだけにとどまりません。ハードが整備され、労働時間などのソフト面での配慮がなされていること自体、障がい者の方の雇用を広げるうえで重要なことであることに違いはありません。しかし、奥進システムを際立たせるのは、従業員同士の気配りです。

## 障がい者雇用に優れた企業



障がい者に配慮した職場空間



### 会社概要

設立…2000年 / 資本金…300万円  
従業員数…7名 / 所在地…大阪市中央区  
会社HP…<http://www.okushin.co.jp/>  
事業内容…Webアプリケーション開発 / 大阪市きらめき企業賞受賞、大阪府ハートフル企業チャレンジ応援賞受賞、ほか多数受賞



従業員の一人一人への気配り

社内で自分の状況をプレゼンしたり、日々の体調や心の状態を日報に書いて全員で共有できるようにしたり、ネット上のサポートブック「うえぶサポ」を使うことにより、障がい者の特性やどんな時にどんなサポートが必要なのか、スタッフ皆で理解と実践ができる工夫がなされています。場合によっては、専門支援機関や従業員の家族と改善策を検討することもあつて、何より、従業員の一人一人が普段のちょっとした気遣いや声掛けを大切にしているとのこと。実際、取材をしていても、その雰囲気を感じることができ

### 従業員7名のうち5名が障がい者

奥進システムの業務はインターネット技術を活用してのシステム開発です。顧客と相談をしながら、顧客にとって最適なシステムを実現するオーダーメイド開発を行っています。なかでも、システム化が遅れている福祉・介護現場に導入できるソフトウェアの開発に注力しており、同社のホームページでは、福祉法人(就労継続支援B型)事業所向けシステムの「うえるサポ」、精神障がい者の方などを対象にした就労定着支援システムのSPISなどが紹介されています。このほか、和製化粧雑貨の「よーじやオンラインショッピング」のショッピングカートも奥進システムの開発によるものです。したがって、従業員にはPHP言語、HTML、JavaScriptなどの専門知識が求められます。もし入社時にこうした知識がない場合には、会社独自のフレームワークで技術を習得するそうです。

奥進システムが面白いのは、こうしたシステム開発ばかりではありません。同社の従業員7名のうち5名が障がい者であり、オフィスがビルの1室でありながらもありません。

### 働き手にとって 優しい職場を作りたい

従業員一人ひとりの気配りの在り方が素晴らしい、職場の雰囲気は率直に言って、営利企業とは思えません。障がい者の方に働きやすい職場を提供するという社会的な役割と共に、一般企業と同様に営利事業を持続させているというのが奥進システムのすごいところ。今後こうした企業がもっと増えていくことが望まれます。

同社の奥脇代表は、働きやすい環境をつくること、その一環として、障がい者の雇用があると言います。代表によれば、入社すれば、仕事に対する姿勢、利益を追求する姿勢は健常者の場合と同じです。「障がい者、健常者に関わらず、働き手にとって優しい職場を作りたい」それが奥脇代表の願いです。